

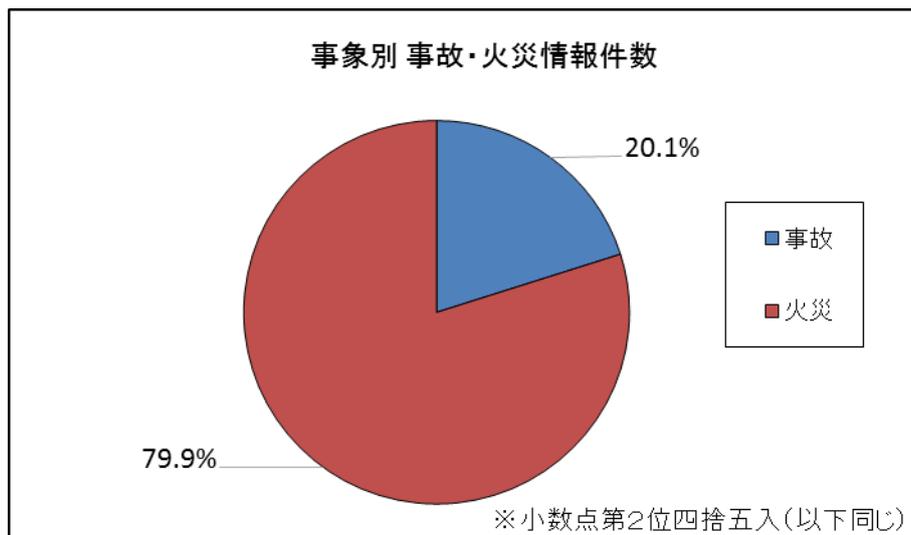
事故・火災情報の統計結果について(平成25年)

平成25年に自動車メーカーから報告があり、国土交通省のホームページにて公表している自動車の事故・火災情報について、統計的などりまとめを行いましたので公表します。なお、統計結果は自動車製作者等からの情報によるもので、国土交通省としてその内容のすべてを確認しているものではありません。

(重大な事故・火災情報は随時更新、その他の事故・火災情報は四半期毎の更新)

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/cgi-bin/search.cgi>

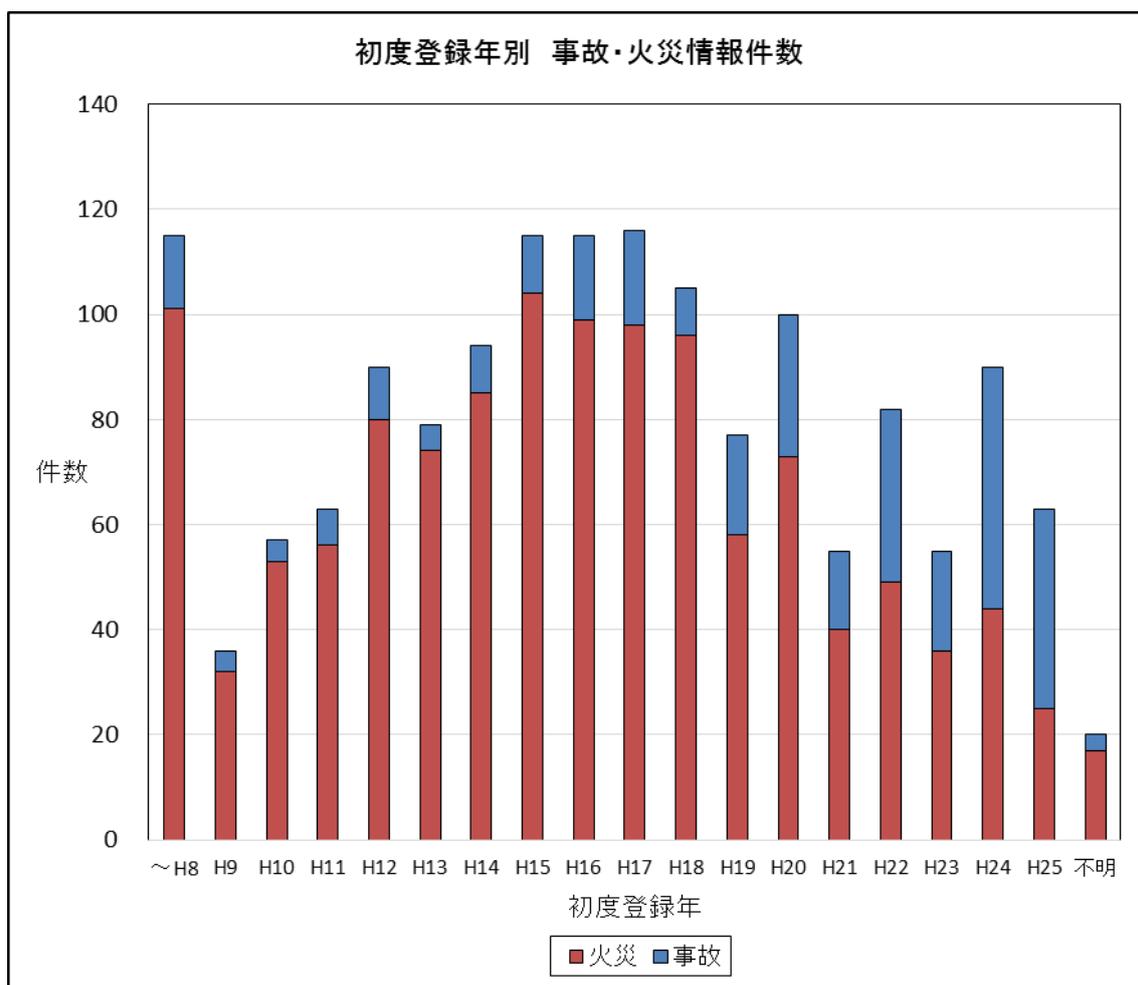
1. 事故・火災情報の総件数は1,527件であり、昨年と比べて207件増加した。内訳としては、事故307件(20.1%)、火災1,220件(79.9%)であり、全体の約8割が火災情報であった。昨年と比べ、事故が86件増加、火災が121件増加した。



(件数)

年別 \ 事象別	事故	火災	合計
平成25年	307	1,220	1,527
平成24年	221	1,099	1,320

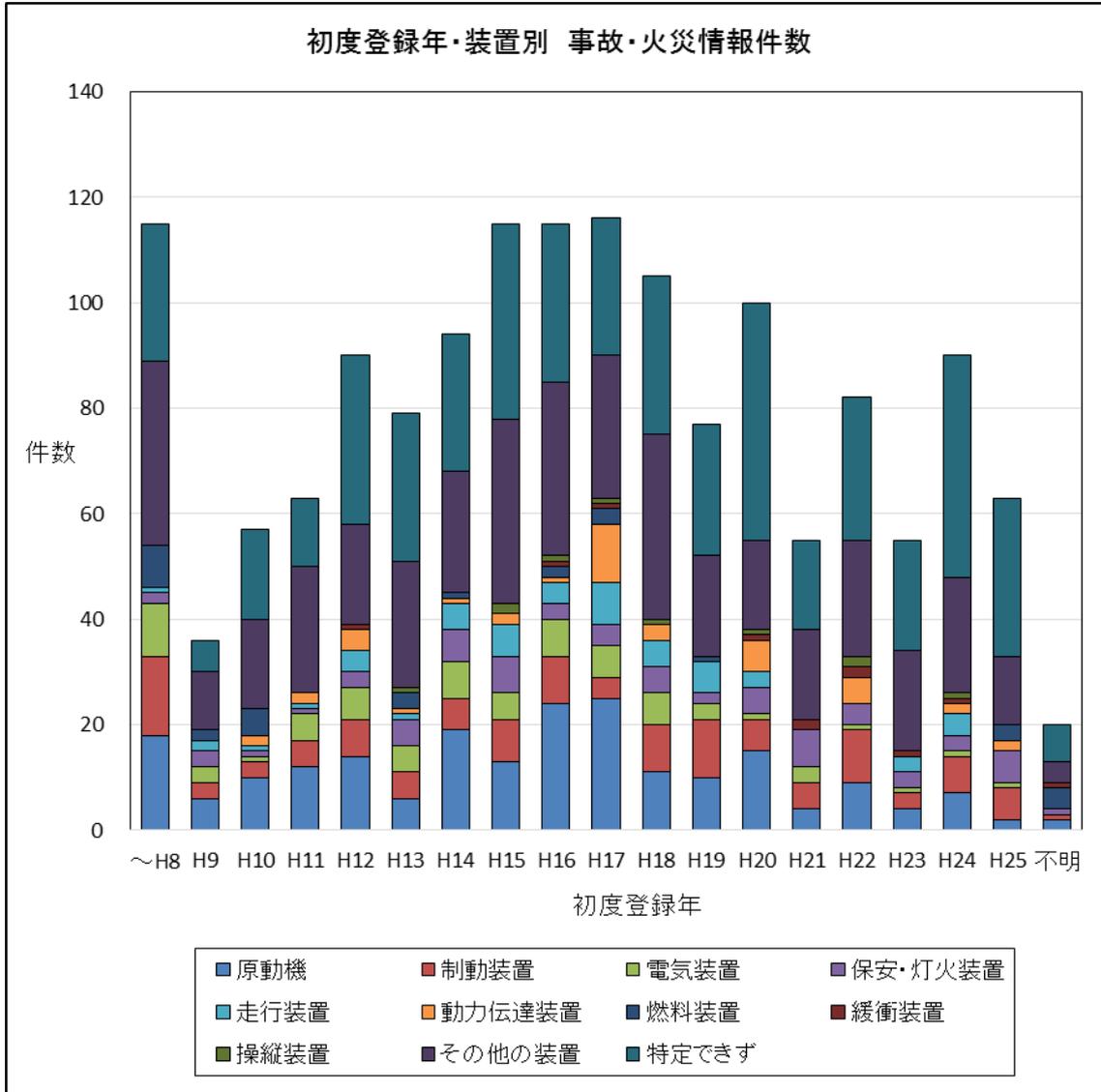
2. 初度登録年別の事故・火災情報件数は、平成 16 年付近を中心に平成 15 年から平成 18 年まで 100 件以上と件数が多くなっている。また、平成 19 年以降については、事故・火災の件数に対する事故の割合が 20%以上となっている。次に、初度登録年別における装置別の事故・火災情報件数は、原動機については、平成 17 年が最も多く、平成 14 年から平成 20 年まで 10 件以上となっている。初度登録年別における原因別の事故・火災情報件数は、原因が特定できていないものを除くと点検・整備に起因するものが最も多く、平成 12 年から平成 18 年まで 20 件近くと件数が多くなっている。



(件数)

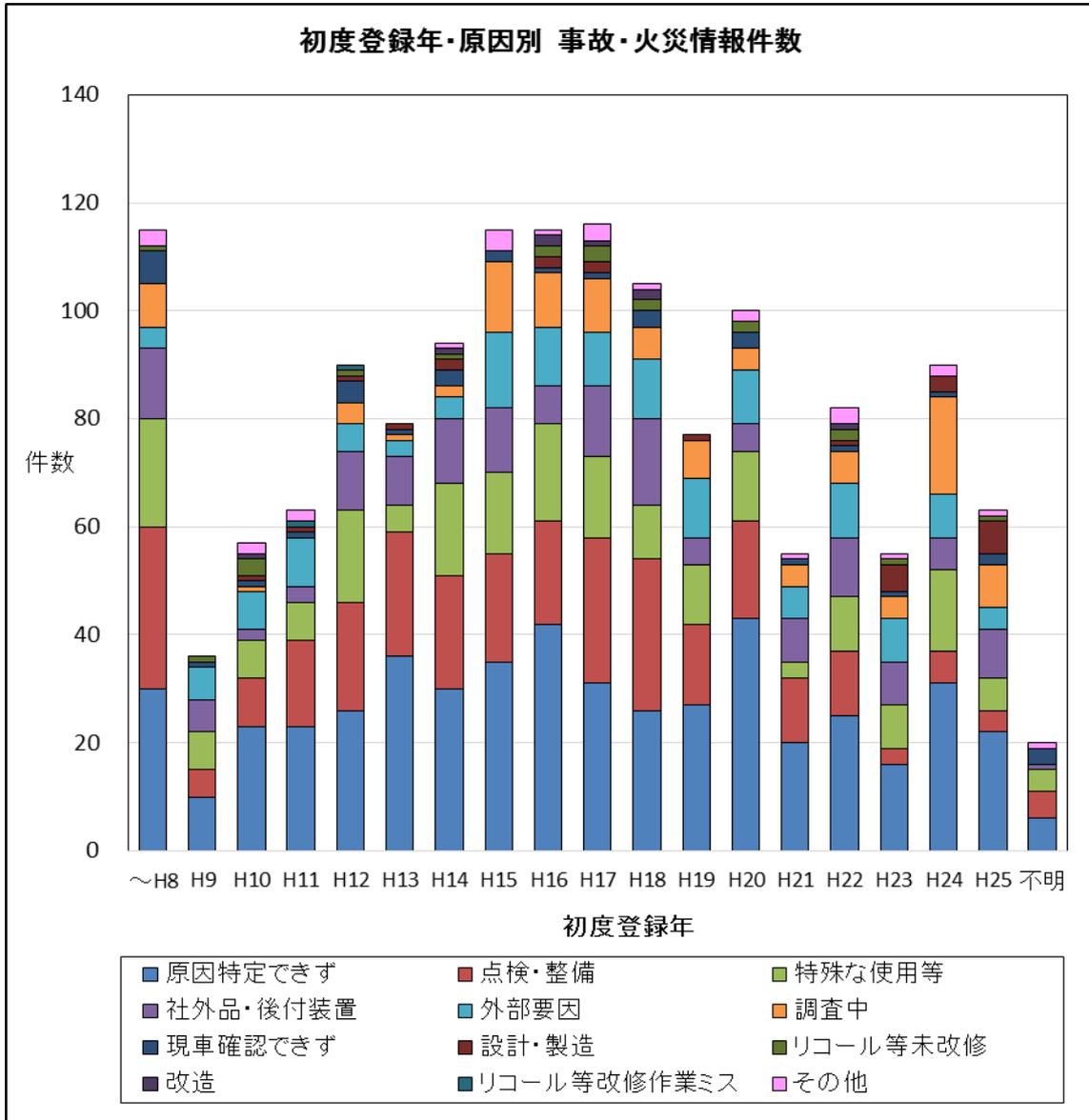
初度登録年別 年別	~H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	不明	合計
事故	14	4	4	7	10	5	9	11	16	18	9	19	27	15	33	19	46	38	3	307
火災	101	32	53	56	80	74	85	104	99	98	96	58	73	40	49	36	44	25	17	1,220
合計	115	36	57	63	90	79	94	115	115	116	105	77	100	55	82	55	90	63	20	1,527

2-A. 初度登録年・装置別事故・火災情報件数



装置別	初度登録年別																				合計
	～H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	不明		
原動機	18	6	10	12	14	6	19	13	24	25	11	10	15	4	9	4	7	2	2	211	
制動装置	15	3	3	5	7	5	6	8	9	4	9	11	6	5	10	3	7	6	1	123	
電気装置	10	3	1	5	6	5	7	5	7	6	6	3	1	3	1	1	1	1	0	72	
保安・灯火装置	2	3	1	1	3	5	6	7	3	4	5	2	5	7	4	3	3	6	1	71	
走行装置	1	2	1	1	4	1	5	6	4	8	5	6	3	0	0	3	4	0	0	54	
動力伝達装置	0	0	2	2	4	1	1	2	1	11	3	0	6	0	5	0	2	2	0	42	
燃料装置	8	2	5	0	0	3	1	0	2	3	0	1	0	0	0	0	0	3	4	32	
緩衝装置	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	2	2	1	1	0	1	11	
操縦装置	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	1	0	1	0	2	0	1	0	0	10	
その他の装置	35	11	17	24	19	24	23	35	33	27	35	19	17	17	22	19	22	13	4	416	
特定できず	26	6	17	13	32	28	26	37	30	26	30	25	45	17	27	21	42	30	7	485	
合計	115	36	57	63	90	79	94	115	115	116	105	77	100	55	82	55	90	63	20	1,527	

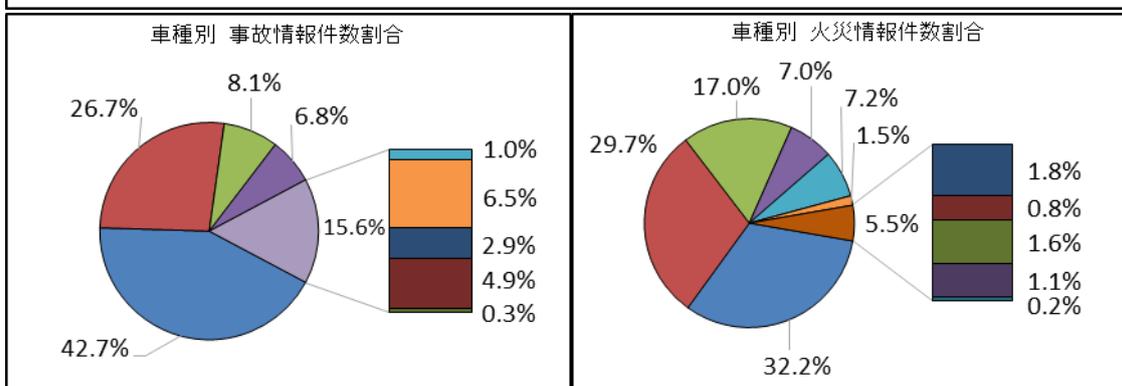
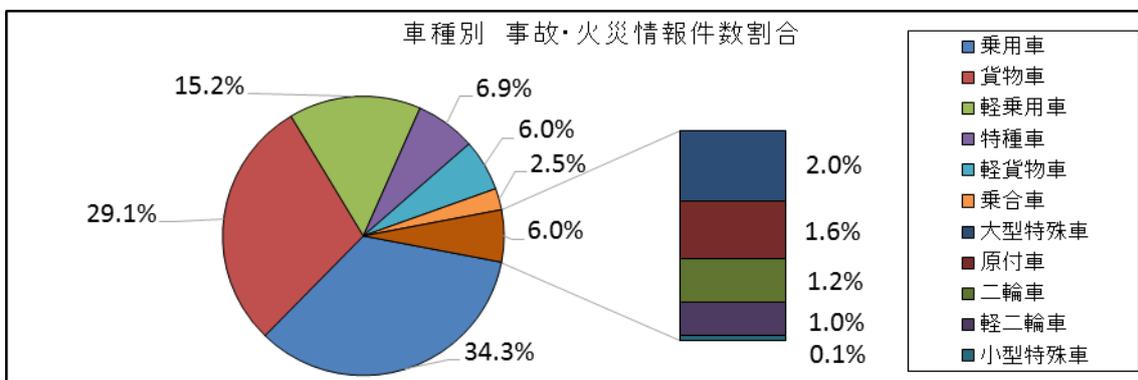
2-B. 初度登録年・原因別事故・火災情報件数



(件数)

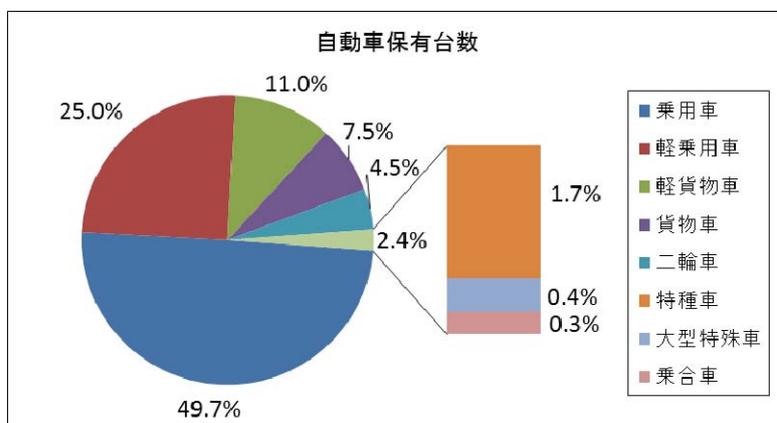
初度登録年別	～H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	不明	合計
原因別																				
原因特定できず	30	10	23	23	26	36	30	35	42	31	26	27	43	20	25	16	31	22	6	502
点検・整備	30	5	9	16	20	23	21	20	19	27	28	15	18	12	12	3	6	4	5	293
特殊な使用等	20	7	7	7	17	5	17	15	18	15	10	11	13	3	10	8	15	6	4	208
社外品・後付装置	13	6	2	3	11	9	12	12	7	13	16	5	5	8	11	8	6	9	1	157
外部要因	4	6	7	9	5	3	4	14	11	10	11	11	10	6	10	8	8	4	0	141
調査中	8	0	1	0	4	1	2	13	10	10	6	7	4	4	6	4	18	8	0	106
現車確認できず	6	1	1	1	4	1	3	2	1	1	3	0	3	1	1	1	1	2	3	36
設計・製造	0	0	1	1	1	1	2	0	2	2	0	1	0	0	1	5	3	6	0	26
リコール等未改修	1	1	3	0	1	0	1	0	2	3	2	0	2	0	2	1	0	1	0	20
改造	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	8
リコール等改修作業ミス	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	3	0	2	2	0	0	1	4	1	3	1	0	2	1	3	1	2	1	1	28
合計	115	36	57	63	90	79	94	115	115	116	105	77	100	55	82	55	90	63	20	1,527

3. 車種別の事故・火災情報件数は、乗用車 524 件 (34.3%) が最も多く、次いで、貨物車 444 件 (29.1%)、軽乗用車 232 件 (15.2%) の順となっており、事象別(事故・火災)においても同様な傾向となっている。なお、貨物車は、自動車の保有台数の割合(7.5%)に対しての情報件数の割合(29.1%)が高い傾向にある。



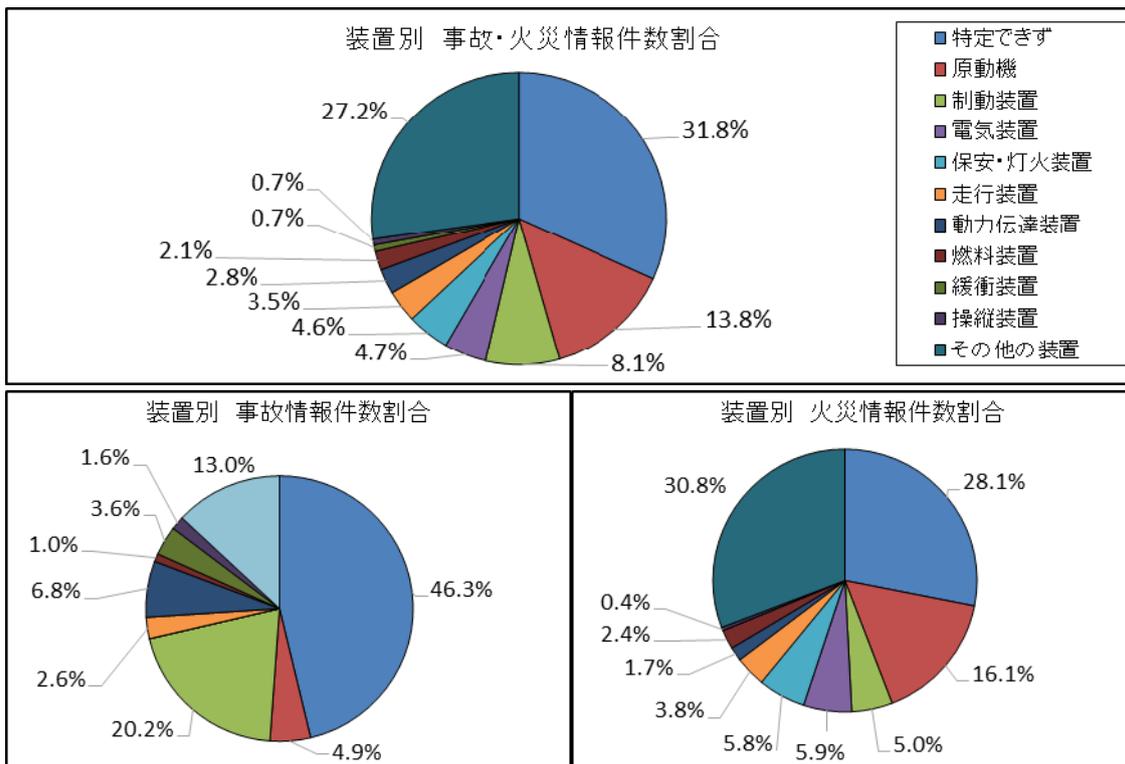
事象別	車種別											合計
	乗用車	貨物車	軽乗用車	特種車	軽貨物車	乗合車	大型特殊車	原付車	二輪車	軽二輪車	小型特殊車	
事故	131	82	25	21	3	20	9	15	0	1	0	307
火災	393	362	207	85	88	18	22	10	19	14	2	1,220
合計	524	444	232	106	91	38	31	25	19	15	2	1,527

(参考) 自動車保有台数



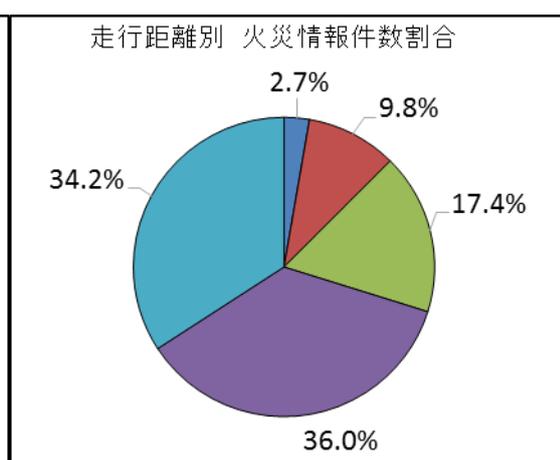
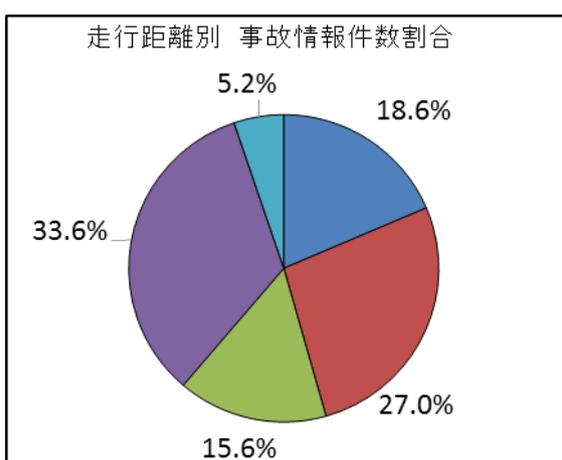
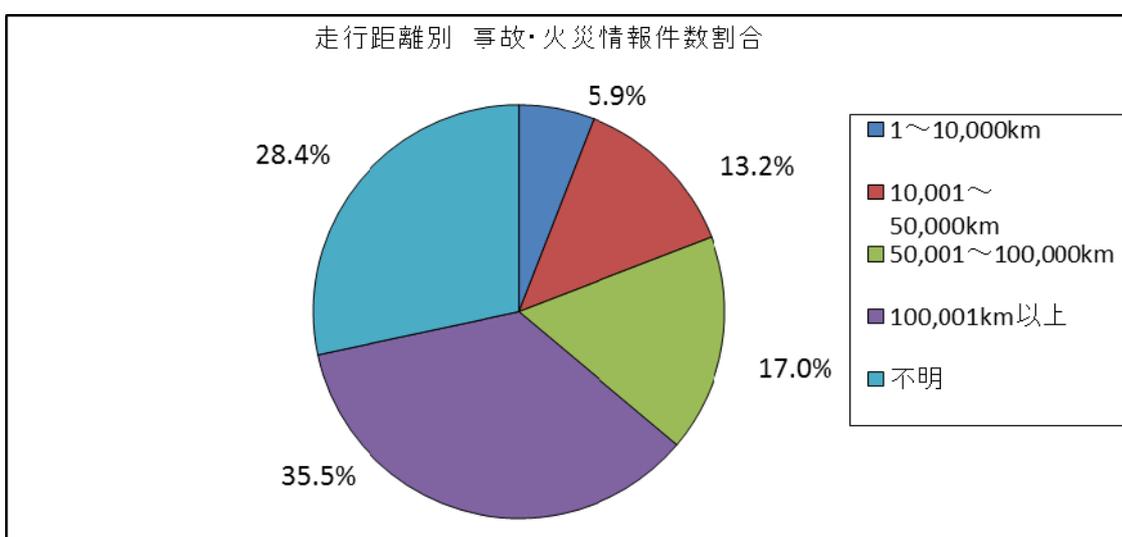
注: 自動車保有台数は、平成25年12月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会の集計数字(小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。)より算出した。

4. 装置別の事故・火災情報件数は、特定できなかったものを除き、原動機が 211 件(13.8%)で最も多く、次いで、制動装置が 123 件(8.1%)、電気装置が 72 件(4.7%)の順となっている。事象別(事故・火災)で見ると事故情報件数は、制動装置が 62 件(20.2%)で最も多く、次いで、動力伝達装置が 21 件(6.8%)、原動機が 15 件(4.9%)の順となっている。一方、火災情報件数は、原動機が 196 件(16.1%)で最も多く、次いで、電気装置が 72 件(5.9%)、保安・灯火装置が 71 件(5.8%)の順となっている。



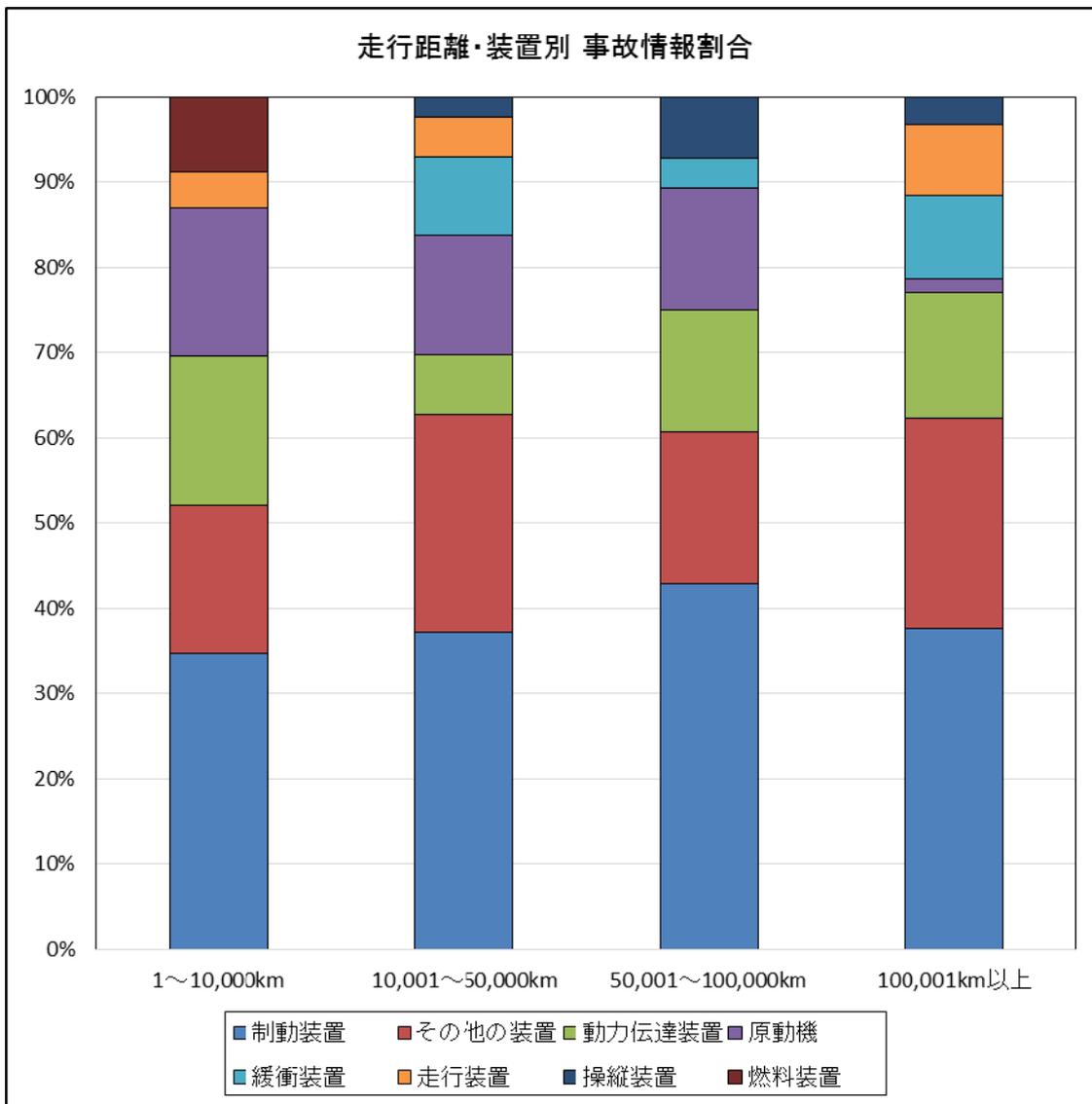
車種別 事象別	(件数)											合計
	特定できず	原動機	制動装置	電気装置	保安・灯火装置	走行装置	動力伝達装置	燃料装置	緩衝装置	操縦装置	その他の装置	
事故	142	15	62	0	0	8	21	3	11	5	40	307
火災	343	196	61	72	71	46	21	29	0	5	376	1,220
合計	485	211	123	72	71	54	42	32	11	10	416	1,527

5. 走行距離別の事故・火災情報件数は、走行距離「10万 km 超」が 542 件(35.5%)と最も多く、次いで、「5万 km 超-10万 km 以下」が 260 件(17.0%)、「1万 km 超-5万 km 以下」が 202 件(13.2%)の順となっており、走行距離が多くなるに従って割合が高くなっている。事象別(事故・火災)の火災情報件数はほぼ同様の割合である一方、事故情報件数割合は走行距離 5 万 km 以下で 45.6%を占めており、比較的早期から事故が発生している。また、火災情報件数割合については、走行距離 10 万 km 以上で 36.0%と多くなっている。走行距離毎の装置別の件数について、事故情報割合では全距離とも制動装置の割合が多い。一方、火災情報件数割合では、1 万 km を除き原動機の割合が多い。また、比較的短い走行距離においては保安・灯火装置の割合が多く、長い距離では走行装置、制動装置の割合が多くなっている。



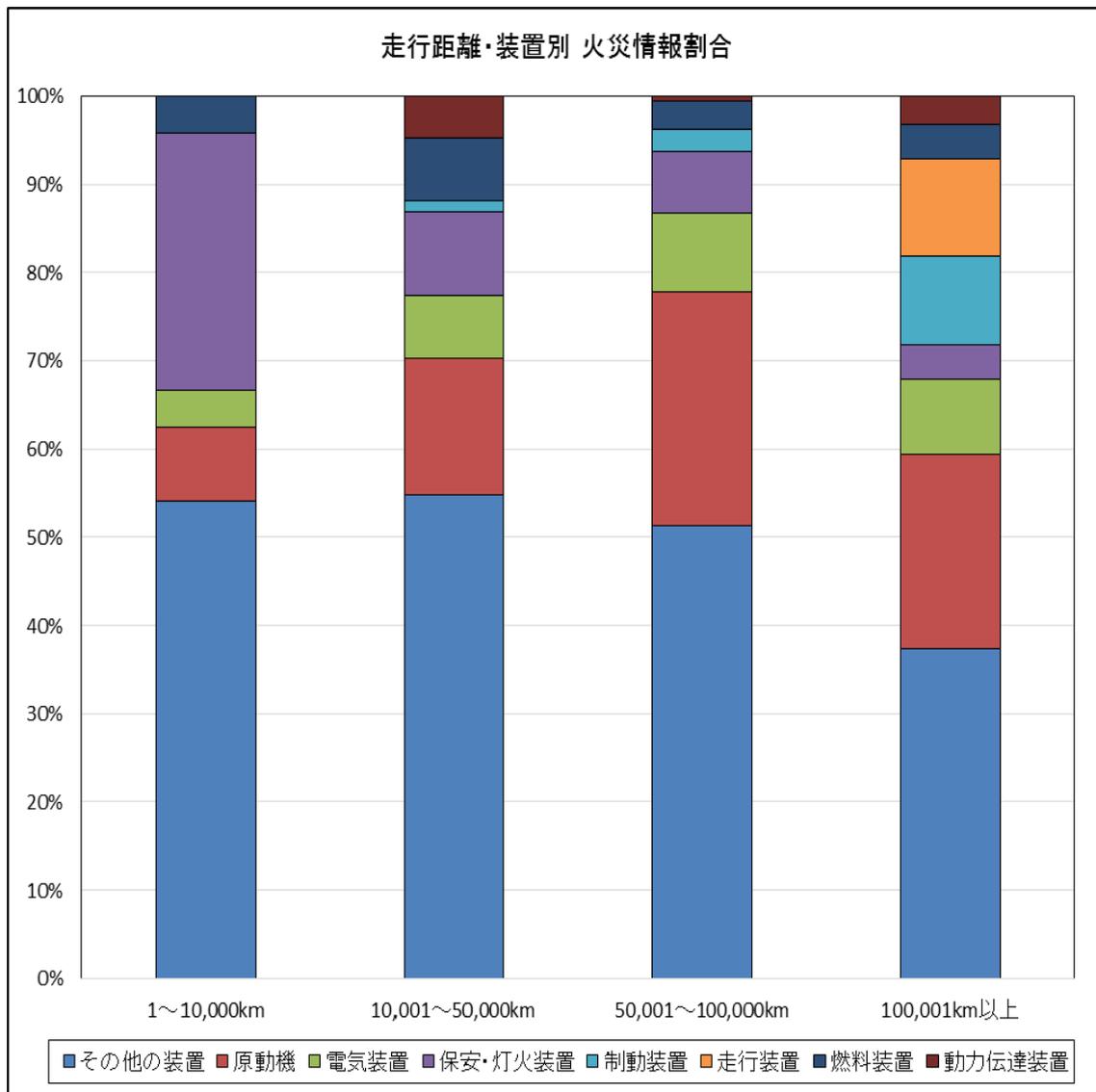
走行距離別 事象別	1~10,000km	10,001~ 50,000km	50,001~ 100,000km	100,001km以上	不明	合計
事故	57	83	48	103	16	307
火災	33	119	212	439	417	1,220
合計	90	202	260	542	433	1,527

5-A. 走行距離・装置別事故情報件数



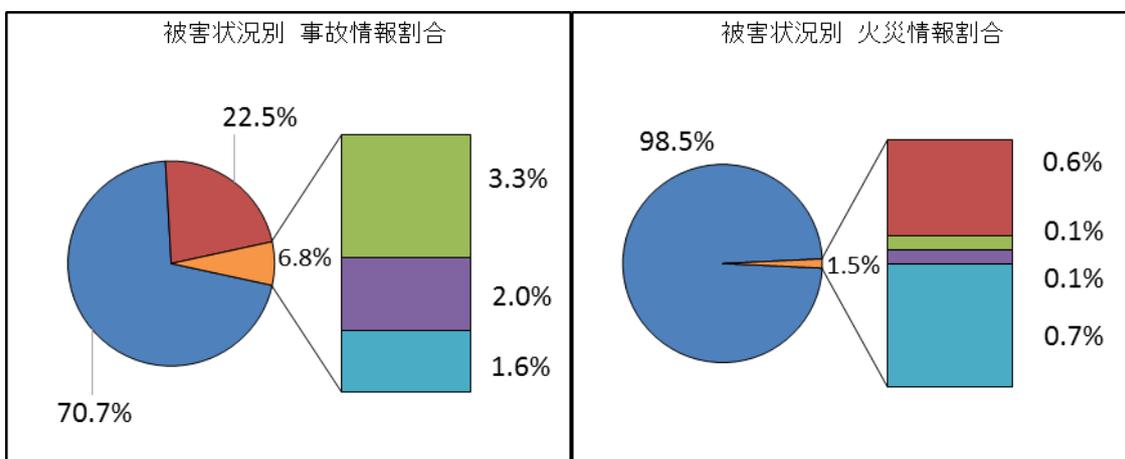
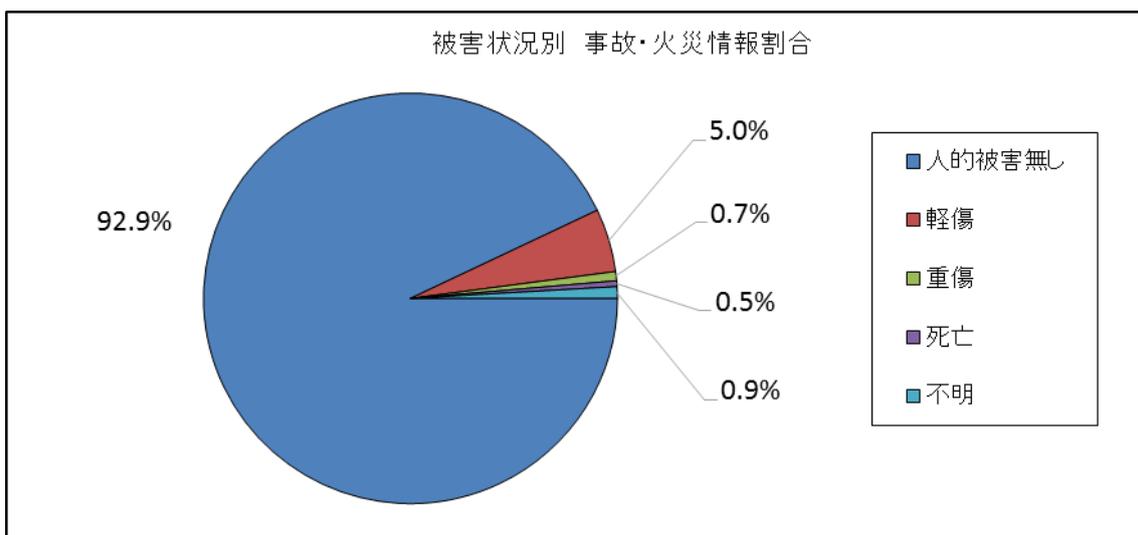
走行距離別 事象別	1~10,000km		10,001~50,000km		50,001~100,000km		100,001km以上	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
制動装置	8	34.8%	16	37.2%	12	42.9%	23	37.7%
その他の装置	4	17.4%	11	25.6%	5	17.9%	15	24.6%
動力伝達装置	4	17.4%	3	7.0%	4	14.3%	9	14.8%
原動機	4	17.4%	6	14.0%	4	14.3%	1	1.6%
緩衝装置	0	0.0%	4	9.3%	1	3.6%	6	9.8%
走行装置	1	4.3%	2	4.7%	0	0.0%	5	8.2%
操縦装置	0	0.0%	1	2.3%	2	7.1%	2	3.3%
燃料装置	2	8.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	23	100.0%	43	100.0%	28	100.0%	61	100.0%

5-B. 走行距離・装置別火災情報件数



装置別	走行距離別		1~10,000km		10,001~50,000km		50,001~100,000km		100,001km以上	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
その他の装置	13	54.2%	46	53.5%	81	50.6%	115	37.2%		
原動機	2	8.3%	13	15.1%	42	26.3%	68	22.0%		
電気装置	1	4.2%	6	7.0%	14	8.8%	26	8.4%		
保安・灯火装置	7	29.2%	8	9.3%	11	6.9%	12	3.9%		
制動装置	0	0.0%	1	1.2%	4	2.5%	31	10.0%		
走行装置	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	34	11.0%		
燃料装置	1	4.2%	6	7.0%	5	3.1%	12	3.9%		
動力伝達装置	0	0.0%	4	4.7%	1	0.6%	10	3.2%		
操縦装置	0	0.0%	2	2.3%	2	1.3%	1	0.3%		
合計	24	100.0%	86	100.0%	160	100.0%	309	100.0%		

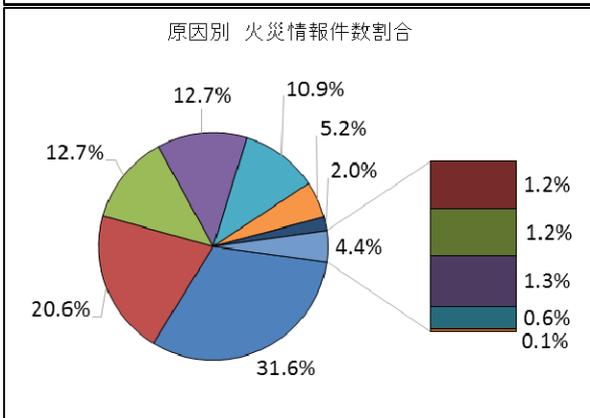
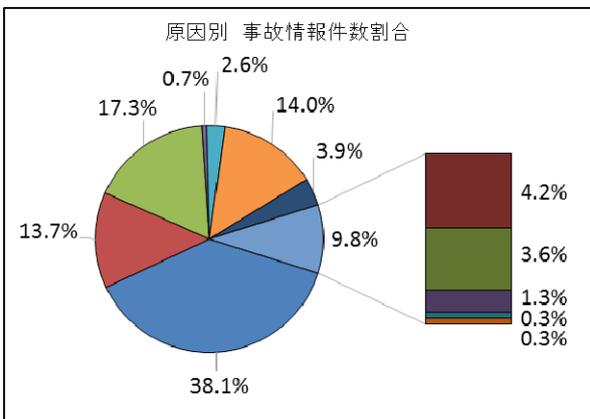
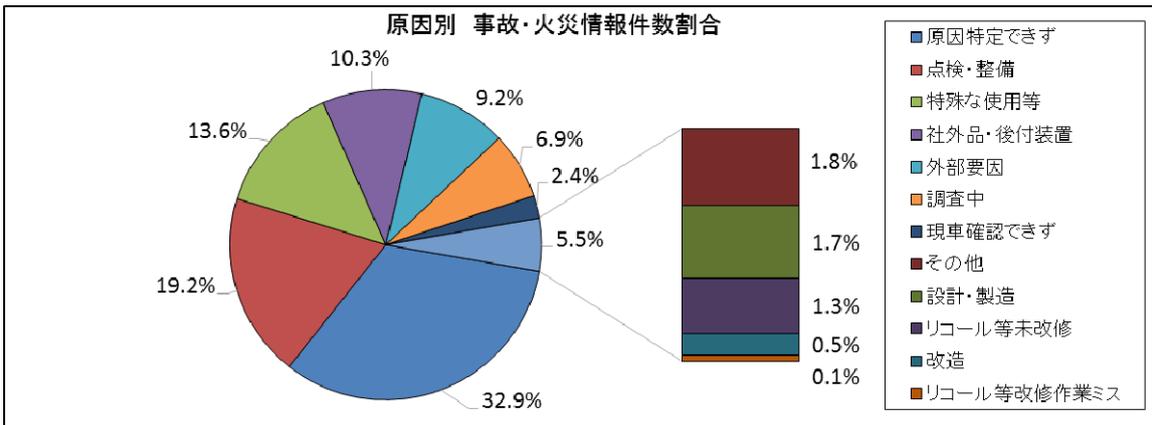
6. 被害状況別の事故・火災情報件数は、人的被害無しが1,419件(92.9%)と最も多く、次いで、軽傷が76件(5.0%)、重傷11件(0.7%)の順となっている。事象別(事故・火災)の人的被害無しの割合は、火災が98.5%に対し事故が70.7%となっており、事故の際における負傷者の割合が高くなっている。



(件数)

被害状況別 事象別	人的被害 無し	軽傷	重傷	死亡	不明	合計
事故	217	69	10	6	5	307
火災	1,202	7	1	1	9	1,220
合計	1,419	76	11	7	14	1,527

7. 原因別の事故・火災情報件数は、原因特定ができなかったものを除くと、点検・整備の実施方法等に起因するものが293件(19.2%)と最も多く、次いで、特殊な使用等が208件(13.6%)、社外品・後付部品の装着によるものが157件(10.3%)の順となっている。特殊な使用等、社外品・後付部品の装着、改造といったユーザーの使用等に係わるものの合計は373件(24.4%)となっており、原因特定ができなかったもの及び調査中のものを除くと全体の3分の1以上を占めている。事象別(事故・火災)でみると、火災については、焼損等により原因特定ができない場合が多いほか、社外品・後付部品や外部要因に起因する割合が事故に比べて高くなっている。



原因別	事象別		
	事故	火災	合計
原因特定できず	117	385	502
点検・整備	42	251	293
特殊な使用等	53	155	208
社外品・後付装置	2	155	157
外部要因	8	133	141
調査中	43	63	106
現車確認できず	12	24	36
その他	13	15	28
設計・製造	11	15	26
リコール等未改修	4	16	20
改造	1	7	8
リコール等改修作業ミス	1	1	2
合計	307	1,220	1,527